



情報モラル ～自分を守るための考え方～

おはようございます！ こんにちは！ あるいは、こんばんは！ 英語科の西郷です。

今日は冬休み前のセルフチェック（自分ができているかを自分で確認すること）をしてほしいと思い、情報とモラルについて書いています。

人と関わる時、みなさんは自分の言動に気をつけていますか…？ 言葉や行動は、思っている以上に相手の心に残ります。それは、直接顔を合わせているときも、文字や画面を通してやりとりするときも同じです。

●第1チェック●

☒自分が言われたらどう感じるか ☒これは相手を安心させる言葉か

少し立ち止まって考えてみたらすこし気持ちを楽にできるかも…

そして、『情報』と『モラル』を合わせた言葉、、情報モラル。

情報モラルとは、**情報をどう受け取り、どう発信するかを考え、自分と相手の安全を守る力**のことです。

たとえば、SNS やメッセージアプリでは、表情や声のトーンが伝わらないため、何気ない一言が強く、冷たく受け取られてしまうことがあります。これは「誤解」や「炎上」、「ネットトラブル」につながる原因の一つです。また、写真や動画、名前、居場所などの個人情報を軽い気持ちで出してしまうと、**肖像権の侵害や個人情報の悪用**といった問題に発展することもあります。一度ネットに出た情報は、完全には消えません。

●第2チェック●

☒この情報は今出しても誰も（自分も周りも）傷つかないか ☒この情報を共有することで誤解は生まれないか

ここで立ち止まって考えて行動できるかがあなたの人間力につながるかも…

これらのことを考えることは、誰かのためだけでなく、**自分を守るための行動**になります。「**なんで周りのために自分が気をつけなあかんのか？**」 そう思う人もいるかもしれません。でも、言葉や行動に気を配ることは、自分がこれ以上トラブルに巻き込まれないため、自分が安心して過ごす場所を失わないためでもあります。相手を傷つけない選択は、結果として**自分の居心地や安全、時間、居場所を守るための力**となります。

もうすぐ始まる冬休みは、ネットに触れる人も、触れない人も、人との距離や環境が変わりやすい時期です。だからこそ、「この行動は、あとで**自分を困らせ**ないかな？」そんな視点を、少しでも持って過ごしてほしいなと思います。

最後まで読んでくれてありがとう🌟